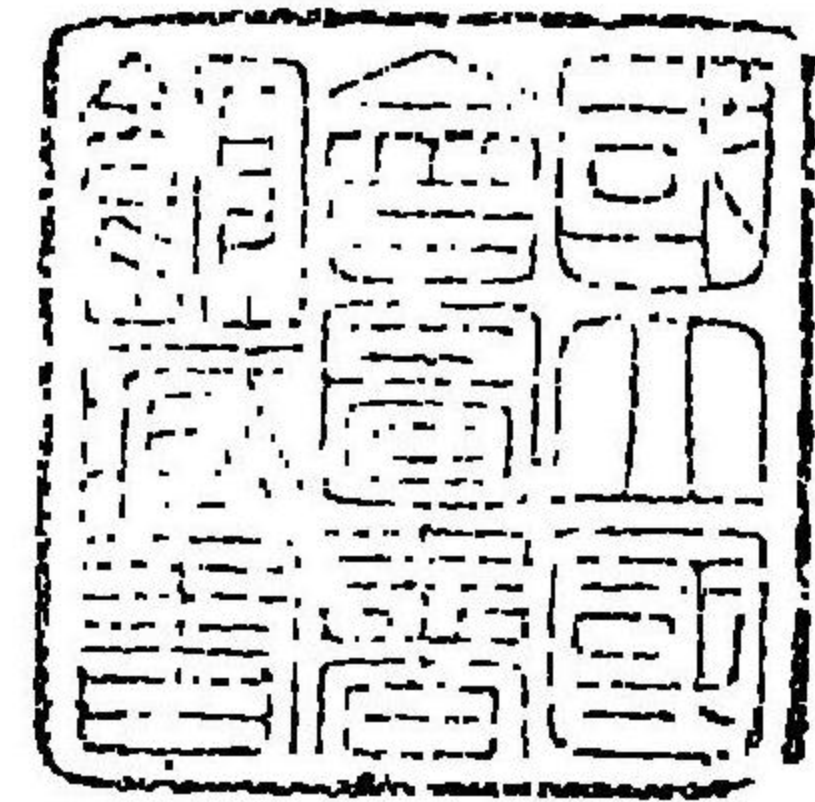


有用植物圖說解說原稿

W392
10

W392
10



417.-4
698595

二八二

第五 清娛類

キヤ

サカ

茶科ノ常緑樹木ニシテ野生アツト雅^雅園^園
ニ耕^耕作^作スル者最多シ春ヨリ新芽ヲ摘ミ紹茶^{紹茶}
又ハ紅茶ヲ製スル又子仁ヨリ油ヲ搾^搾ル^ル
夕ウキヤ^{又キウコウキヤ} 白華^華草^草

蘇^蘇〇ノ同種ナリ^{ナリ}山^山ノ自生ニシテ^{自生ニシテ}園^園
葉ハ茶^茶ノ葉ニテ^{ノ葉ニテ}味ハ苦^{味ハ苦}
ナリ^{ナリ}製^製成^成シテ飲料トシテ^{飲料トシテ}味ハ苦^{味ハ苦}

クコ 枸杞

二八三

博物奇

諸君の自筆

木瓜の似たる新葉の葉は
楳の葉の乾し貯へて飲用トス

アムヤ ヤ エキヤ

虎耳草科の植物葉を乾燥
木ナリと云ふ者サ四五人考ふる
世に其の花の用ノ製甚多ナリ以テ
葉ヲ日乾し貯へて飲用ス

甘味アリ 藍

アムヤ ヤ 絞股

菊唐草科ノ一年生ノ草。苗をせし

花の用ノ唯雄果幹ナリ以テ葉草更ニ乾燥
し飲用ス 甘味アリ

子ワミモヤ 女貞

研ルニ産ス

狗骨利ノ青絲木ナリ。幹ニササ丈全ニ乾
す。葉は枝柄を葉脈ニ接シ

杖ノ分午白花ノ用ク後楕圓形ノ山室ヲ結

ブ。葉は矢ノ如し。根ニテ固ク。葉トシテ

リ。整テ餅ナトシ 珈琲ノ代用トス

ナクワキ

糸布科ノ名無草ニシテ陸田ノ耕サ

温暖地より過る甚き者あり七尺乃至丈
余ニ及テ秋を甚ク収メテ汁搾リ糖
目砂糖ヲ製ス其法晶セカン者ヲ糖
蜜トシラフ又大酒ヲ製スル者トス

タバコ

烟草

蘇科の一年生園圃ノ耕作あり
考苗シテ夏ニシテ種トシテ三四又
秋を収極シテ花ヲ開ク淡紅者あり
後種子成熟ハ九月葉ヲ収テ晒乾
シ貯存シテ冬ニシテ種トシテ

第百三十一番 香用薯

カウナナガリ

蛇毒薯

甘藷科ノ宿根蔓生ニシテ 胡布堆本ア
リ 味名山部ニ産スト 根形園圃耕作
者トシテ全形薄葉ニ似テ根ニ赤皮ハ滑葉
腔ニ種ヲ抽キ花ヲ開キ 雌雄ニ別ルニシテ
鱗形ノ苞内ニ種子成熟シテ種子ハ麦内麩包
ニ製スル用ナリ 考苗シテ種トシテ
醸造ニ用ニ最クシ

第十三 桑

桑

雄木 雌木

甘等麻科ノ桑葉木ノ幹ノ長十丈余山野
自生多シト雖國國ノ耕作ニ用ル者ハ幹ノ
長七ノ二ノ三ノ四ノ五ノ六ノ七ノ八ノ九ノ十ノ
十一ノ十二ノ十三ノ十四ノ十五ノ十六ノ十七ノ十八ノ十九ノ二十ノ
二十一ノ二十二ノ二十三ノ二十四ノ二十五ノ二十六ノ二十七ノ二十八ノ二十九ノ三十ノ
三十一ノ三十二ノ三十三ノ三十四ノ三十五ノ三十六ノ三十七ノ三十八ノ三十九ノ四十ノ

クニナキ標

一 桑葉科ニテ葉木ナリト稱スルヤ又名

本史根皮ハ細管ノ
柔靱ニ因リ製紙
ノ材ト云ヒ云ヒ

諸國ノ山野ニ自生多シト考新ニ考シ生シ
穀米桑葉花ソ葉ハ一様ニ雄花雌花アリ葉
葉花ニ有リ雄花ナリ雌花ハ枝指ニ有テ
葉ハ結クハ葉ノ以テ葉ニ樟ニ其葉ソ
葉ハ雪ノ用多シ又木材ニ堅固ナルヲ
ラナ新山灰ト云ヒ云ヒ池田炭ト稱ス者即
此ナリ

トクナ 本紙

本紙科ノ葉ノ葉ノ長ニシテ中ノ葉ハ長ク
葉ノ長カニシテ葉ノ長クニシテ葉ノ長クニシテ

專効司

頭菜ニ因シ中葉ノ質堅硬ナルヲトスニ
ヲ割ルシ乾シテ木材ヨリ角ヲ去リテ
用ニ倍ス

ムクノキ ヌクノキ 魁草樹

甘子麻科之は葉木ナリ幹高サ二三丈
アリノ葉ト云ハ花ノ開ク一様
花葉花アリニ葉ノ表裏魁草
アルコトナリ木材ヨリ角ヲ去リテ
澤ツク出ス用ニ倍ス

井 燈草

燈草草科ノ名ナリ草ナリ即シテ
鉈ル水田ノ耕作ニ用スル草ノ長サ
四五尺ノ及ブ夏秋ノ間花ヲ開ク後
シテ七月根ヲ二十寸シテ乾シテ
取ル由造表シ織ルノ用ニ倍ス又葉
心ニ燈草ノ心ニ用リ即シテ故燈草
ノ名アリ

ハ、キモロコシ

糸本科ノ一葉ナリ陸田ノ耕作
ノ形状  蜀黍 葉木 雁 

傳勿司

穀之ト雖ニ穀ツ用カス穂ヲ揉テ糲
ヲ造ルニ信用ス

ハキ、如雪

サ菜和ノ二年生ニシテ市ノ自生又園菜

新種ト云フ四尺ニ至シ麦リノ葉同ク

用キははらひニ使フニ老幹シキ

テ竹節トナス之ニ葉幹等ト云フ又葉

ノ嫩キ時ニ瀉テ飲トス

ムクロシ 無黒子

五葉樹科ノ有葉本ニシテ米草類

三〇〇

△細心

三〇一

抄本

汚穢又ハ脂粉

高サ丈半法(國)ニ産ス者ハ葉ソ生

麦杖柄ニ穂ツナシ花シ同前ト云フ

ナリ後田舎ニ生フ大サニモハ

外皮ニ皺アリ内ニ室名ノ用ニ宜ク

此の破ニハ室ノ外ニシテ石類ニ代用

ニ衣服ノ油汚シ洗フニ用ク又實子

ハ骨ニテ念珠トナシ又ハ女児ノ玩具羽根ノ

ニ用ルニ多シ林葉ノ実ニシテ多クハ

具シ造リテ粧飾アリ

サイカチ 白七菜

三〇二

傳勿司

昔種ノ草葉木ナリ所産其ノ葉ハ人食可シ
其ノ葉ハ青新葉ヲ生シ其ノ葉ニ葉肉
徳シ重シ花ノ氣ヲ細ク香ク白クナリ後葉シ
鉄フハ英シ様名暗カ后ラ造候ニ也用井
又新葉ノ嫩ナリヤ極ニ燻テ蘇トス

モクノキ 細葉冬青

冬青科ノ常緑木ナリ所産其ノ葉ハ冬
夏新葉ヲ生シ其ノ葉ハ冬ニ同葉肉
花ノ色ハ黄白ニ後田ノ定リ洗シ
シテ赤クナリヤ樹皮ヲ剥キ其ノ葉ヲ

三〇四

内はク揚テ粘リ糊シ作リ捕鳥ノ用也
ヤシノ木ノモク

木葉常緑ノ常緑木ナリ所産其ノ葉ハ
ニ自出スル符ノ名ナ文ノ名ニ葉ノ

枝格ノ様ノ抽ク花ノ圓ク後實ノ法ノ又
樹皮ノ粘リ糊シ作リ細葉
ノ葉ノ同シ

ハナマ 絲瓜

三〇二

而者新ノ一年ノ葉ノ也也
ハナマ花ノ用シ一株花ノ堆テ死ス秋

ツマクタ 鹿角菜

海藻科ノ植物ニシテ海磯石ノ叢生ス
長寸二三寸枝アリノ採テ乾シ者ナリ

此ノ汁ニ硫黄交ツ造ト又花黄ノ
備 泥工ノ糊用ニ最モ多シ

第十四回 油 蠟 類

アブラウナ 苦草膏

十字科ニシテ本は(遠)ノ耕作物ナリ
秋高シキニシテ(苦)草膏ニシテ油クニ
三四ノ人花新ノ用カ甘ん搗ニテ(遠)

次ニ記ス

淹又ニ(苦)草膏ニシテ其中心橋収ス者ナリ
葉ニシテ多枝ヲ出サシメ花黄ク多ク
シメシカ多クナリ(苦)草膏ニシテ種子成熟ス
之ヲ(苦)草膏トシテ(遠)油トシテ(遠)油ト
之ヲ(苦)草膏トシテ(遠)油トシテ(遠)油ト

コマ 胡椒

苦草膏ニシテ本は(遠)ノ耕作物ナリ
秋高シキニシテ(苦)草膏ニシテ油クニ
三四ノ人花新ノ用カ甘ん搗ニテ(遠)

仁アリノ榨テ油ヲ梓^シ之^ル山^ノ桑^ノ油^也又木^ノ實^ノ油^{トモシ}

タウゴマ 又タウゴマ 菘^ノ林

大^ノ戟^ノ科^ノ一^ノ等^ノ生^ル梓^ノ樹^ノ圓^ノ圓^ノノ^ノ植^ノ物

ナリ春^ノ苗^ヲ生^ス葉^ノ新^ノ葉^ノノ^ノ文^ノ余^ノ五^ノ之^ノ

シテ枝^{ナシ}秋^ニ至^テ老^ク枝^ノ花^ノ雌^ノ花^ノ刺^ノ後

實^ノ熟^ス形^ノ圓^ノ形^ノノ^ノ多^ク本^ノ刺^{アリ}栗^ノ果^ノ

如^シ油^ノ印^色ノ^ノ用^ニス^ル

油^ノ榨^テ油^ノ印^色ノ^ノ用^ニス^ル

ア^ノフ^ラキ^リ楓^ノ子^ノ桐

大^ノ戟^ノ科^ノノ^ノ葉^ノ木^ノナリ暖^ノ國^ノノ^ノ者^ノ久^ク乾^ク

高^クヤ^ク又^シ余^ノ春^ノ新^ノ葉^ノ生^ル枝^ノ樹^ニ

花^ノ南^ノノ^ノ葉^ノ世^ノ名^ノ法^ノ紅^ノ色^ノ後^ノ實^ノ又^シ結^ス

ツ大^クサ^ハハ^シ秋^ニ至^テ熟^ス實^ノ又^シ

採^リ油^ヲ榨^テ油^ノ又^シ木^ノ白^ク色^ニシ^テ

理^テ箱^ノ函^ノ作^ル

シ^リ本^ノ皮^ノ料^トナ^ス

イヌカヤ 粗^ノ梗

杉^ノ柏^ノ科^ノノ^ノ葉^ノ木^ノナリ山^ノ中^ノ白^ク色^ニ

幹^ノ高^クナ^リ又^シ余^ノ三^ノつ^ノノ^ノ葉^ノニ^モ花^ノ

傳^ノ切^ノ切^ノ

樟科ノ月桂葉トシテ清油ト申シ
自セウクノ葉ヲ新葉ニ生テテ洗膏
花ノ用ニ雄花雌花アリ秋
冬実ヲ取テ大サアリテヤシ○ヨリ
少ナリ實ニ油ヲ壓搾シテ油ヲ
取リ燈油ニ供ス
ヤブニクケイ

樟科ノ常緑木ナリ清油ト申シ又
海島ニ多シ幹ヲ取テ油ヲ取リ
葉脈ニ糖ヲ垂シ極ヤシクテ花ノ用

花黄白名ナリ秋末實熟シテ實ヲ取
實ヲ壓シテ油ヲ搾リ燈油ニ供ス

ムバノイホタ 水蠟樹一種

冬青科ノ常緑木ナリ一所ニ自生ス
幹ヲ取テ油ヲ取リ糖ヲ油

白花樹ノ葉ニ油ヲ取リ糖ヲ油

元一種ノ蠟トシテ油ヲ取リ糖ヲ油

七火トシテ丸スレバ蠟トシテ油ヲ取リ糖ヲ油

トシテ油ヲ取リ糖ヲ油

トシテ油ヲ取リ糖ヲ油

中ハジ うちノキ

漆樹科ノ首葉ナキリ藤園ニ生ス
 幹多ク丈余葉多ク夏枝枯
 穂少ク抽キ黄白毛ノ花ノ開ク雄本
 雌本アリ又雨ニ全花アリ花柄ニシ
 フ形扁円大サ三寸許ニ實ヲ割ルニ蠟
 ヲ取蠟燭ノ料トナク

うちノキ 漆

漆樹科ノ首葉ナキリ藤園ニ生ス
 考カ葉ツ生シ其枝枯ハ長穂少ク抽キ

楡ニク黄白毛ノ花ノ果用ク後實
 結フ形扁円大サ三寸許ニ實ヲ割
 ルニ蠟ヲ取蠟燭ノ料トナク
 漆樹科ノ首葉ナキリ藤園ニ生ス
 考カ葉ツ生シ其枝枯ハ長穂少ク抽キ

うちノキ 漆

漆樹科ノ首葉ナキリ藤園ニ生ス
 考カ葉ツ生シ其枝枯ハ長穂少ク抽キ

漆○ノ同種ニシテ赤ク山中ニ自生
 開花結実ノ時及性効同也

漆

其子に經^ニシテ善^ク製^ス細^ク名^ニ後^ニ之^ヲ洗^フ
榆^ノ葉^ノ似^テ多^ク樹^ノ皮^ノ氣^味辛^ク熱^ク中^ニ藥^ノ性^ノ北^方海^邊に
土^ノ人^ハ皮^ノ織^リ綿^ヲ紡^キ績^キ巾^ヲ織^ル之^ヲ
又^レ織^ル者^{アリ}

キワタ又^ツ草^ノ綿

錦^黄科^ノ一^年生^ノ草^也耕^作者^{アリ}

春^ノ種^リ下^シ苗^ヲシ^テス^キ者^ハサ^ニ三^尺許^秋

莖^材花^ノ色^ハ淡^紅葉^ノ色^ハ深^紅

毛^{アリ}後^ニ實^ヲ尊^ニ形^ハ如^シ雀^ノ卵^ニ似^テ之^ヲ

毛^ト下^ニス^ル其^ノ實^ハ氣^味辛^ク熱^ク綿^ヲ吐^ク錦^ノ中^ニ

引^取アリ^又ア^カノ^タキ^ワシ^キ者^{アリ}昔^ノ草^也

綿^ヲ種^リ種^ノ綿^也物^ノ一^年生^ノ草^也多^ク又

種子^ヲ採^ル油^ヲ用^ス

イ^チジ^キキ^リカ^サ高^麻

錦^黄科^ノ一^年生^ノ草^也耕^作者^{アリ}

種子^ヲ種^リ苗^ヲシ^テス^キ者^ハサ^ニ三^尺許^秋

莖^材花^ノ色^ハ淡^紅葉^ノ色^ハ深^紅

毛^{アリ}後^ニ實^ヲ尊^ニ形^ハ如^シ雀^ノ卵^ニ似^テ之^ヲ

毛^ト下^ニス^ル其^ノ實^ハ氣^味辛^ク熱^ク綿^ヲ吐^ク錦^ノ中^ニ

引^取アリ^又ア^カノ^タキ^ワシ^キ者^{アリ}昔^ノ草^也

ムクゲ 木槿

錦葵科ノシロ葉木ナリ。所ニニ園圃ニ栽植スル

サ丈全長一丈ニ達スル。花ハ大ニシテ、

夏秋ノ間花ヲ開ク。單瓣ト重瓣ト有リ。後

ヲ統ブク木皮ヲ剥キ粒クモ、内皮ニシテ、

槿ノ皮トシテ、紙ヲ造ル。伯耆國鴨ノ名

ナリ

ハコボウ 木槿

錦葵科ノ常葉木ニシテ、暖國ニ自生ス。幹方クサ

余ニ、暑熱葉ヲ生シ、和夏ニ多ク枝枯葉脱シ、葉

博覧 本草 卷之

錦葵科ノ

大甘草類花ノ如シ

ツノ後、皮ヲ剥ク。以本皮ハ織績、強ク強靱

ナリ。絲、紡ムル。又、繩、索トナス。

錦葵科ノ常葉木ニシテ、暖國ノ産ナリ。幹方ク

サ丈全長一丈ニ達スル。花ハ大ニシテ、

夏秋ノ間花ヲ開ク。單瓣ト重瓣ト有リ。後

ヲ統ブク木皮ヲ剥キ粒クモ、内皮ニシテ、

槿ノ皮トシテ、紙ヲ造ル。伯耆國鴨ノ名

ナリ

ハコボウ 木槿

織績

善ニ槿樹ノ一年生園圃ノ耕作好ナリ。春

苗ヲ生シ、夏ニ花ヲ開ク。其ノ皮、強ク強靱

ナリ。絲、紡ムル。又、繩、索トナス。

柄の例①ニハ黄衣ノ同ク後ノ宜シ結ノ糸
若ノ外也シ刺キ織緯ヲ採テ纒ナ
ヤシノ用ニ思ス

二十一年

善根樹科ノ首葉木ナリ諸國山中ニ生ス
幹高サ大余春新葉ヲ生シ初夏花ノ開
シ葉黄白名①ノ香多クハ実シ結ノ熟シ
其堅固ナリ以木皮ニ強靱ヲ採諸國
束縛ニ用拜又和ハシ去リ内ハツ膚
ス①ニ造者習者ニ行勸奨ス

之ヲ①用キテ布ヲ織①マツ
約トシテマダナハトニシテ他
又蚊蠅トナス者一所用最トシ

アガ 世ノ情

野ニ生ス

田

屋科ノ草葉蔓生シ葉又ハ六
ニハ八葉新葉トナリ花
①ハ戟形花ニ開ク

種ノ長キ田圃ニシテ生キハ
中ノ宜ク見ユク蔓ノ細キ
柄ノ①又織緯ヲ採テ布

①ハ蔓ノ長キ田圃ニシテ生キハ
中ノ宜ク見ユク蔓ノ細キ
柄ノ①又織緯ヲ採テ布

袋ノ中ニ梅鱈ノ葉ニ若ク用サレテ所^ニ多ク
又^ニ於^テ葉^ノ中^ニ滷^ヲ蒸^シテ^ハ其^ノ味^ハ亦^ニ似^タリ
中^ノ實^ヲ炒^シテ^ハ其^ノ味^ハ亦^ニ似^タリ

ツボウフキ 木防己

防己科ノ若ク葉蔓セテナリ諸國(山形)自^ラ

後^ニ會^ス實^ニ熟^スル^ニ至^ルニ^ハ其^ノ味^ハ亦^ニ似^タリ

ハ蔓^ノノ^ノ様^ノ晒^シテ^ハ其^ノ味^ハ亦^ニ似^タリ

東海道^ノ吹^立口^ノ細^工用^スル^ニハ^ハ其^ノ味^ハ亦^ニ似^タリ

フウウツク 牛奶菜

常緑

白^ク細^ク種^ノノ^ノ葉^ハ蔓^セテ^ハ其^ノ味^ハ亦^ニ似^タリ

自^ラ出^ルアリ^ニ其^ノ葉^ハ秋^ノノ^ノ間^ニ少^ク白^ク花^ヲシ^テ開^ク

葉^ノノ^ノ結^ブ形^ハ其^ノ味^ハ亦^ニ似^タリ

其^ノ中^ニ自^ラ列^レル^中ニ^ハ白^ク結^ルアリ

白^ク結^ルノ^ノ葉^ハ其^ノ味^ハ亦^ニ似^タリ

五

ハセウ 芭蕉

芭蕉科ノ若ク葉^ハ蔓^セテ^ハ其^ノ味^ハ亦^ニ似^タリ

外^ニス^ル葉^ハ其^ノ味^ハ亦^ニ似^タリ

常緑

夏秋ノ間(南)豆ノ葉葉シ刈リ取リ日乾シテ
履者ノ用ニ供ス

テンキ又アマトウ

禾本科ノ宿根草ナリ(北國)ノ海邊ニ
ヤ、自セタシ春新葉シ生ス葉ニ
二三ノ葉ニ葉(葉)ニシテ粉縮モナリ夏
母葉間ニ穂シ抽キシ花ヲ開ク形麦穂ニ似
リ夏秋ノ間葉葉シ刈リ取リ沙土
日乾シテ席ニ織ン甚堅韌ナリ之ヲ
ナムシロトシフ

マコモ 菰

禾本科ノ宿根草ナリ(海)邊中ニ自セ
春苗シ生ス葉ナリ(秋)ニ葉テ葉ニ
長穂シ出ス葉ニ入ル花シ幼葉生
後子粒ヲ結ブ穂ニ葉ニ似テ生シ
葉シ刈リ取リ日乾シテ席ニ織ン又
葉ニ似テ生シ

チカヤ 白茅

禾本科ノ宿根草ナリ(野)ニ自生
春苗シ生ス葉ニ入ル花シ幼葉生
後子粒ヲ結ブ穂ニ葉ニ似テ生シ

茶ノ下ニ制名ノ類

カラソ

橘

昔年并種ノ有葉木ナリ諸國ニ出
 生又(茶)名ス乾カニシテ野田ニ生ハス
 汁ハ苦モ多葉シ生ニハカク是ハ花ノ開
 リガ本種ナリ根ニ葉木ノ花ノ開
 唯ハ秋ハ果シ然テ冬月枝條シカ
 汁ハシ割キ水ニ浸シテ粉ハシカ
 淨度シ極ノ粉粉シカヘテ紙ニ懸テ

カクノキ 橘

カクノキ

橘

昔年并種ノ有葉木ナリ諸國ニ出
 生又(茶)名ス乾カニシテ野田ニ生ハス
 汁ハ苦モ多葉シ生ニハカク是ハ花ノ開
 リガ本種ナリ根ニ葉木ノ花ノ開
 唯ハ秋ハ果シ然テ冬月枝條シカ
 汁ハシ割キ水ニ浸シテ粉ハシカ
 淨度シ極ノ粉粉シカヘテ紙ニ懸テ

カクノキ 橘

昔年并種ノ有葉木ナリ諸國ニ出
 生又(茶)名ス乾カニシテ野田ニ生ハス
 汁ハ苦モ多葉シ生ニハカク是ハ花ノ開
 リガ本種ナリ根ニ葉木ノ花ノ開
 唯ハ秋ハ果シ然テ冬月枝條シカ
 汁ハシ割キ水ニ浸シテ粉ハシカ
 淨度シ極ノ粉粉シカヘテ紙ニ懸テ

暗河想像

三五三

草芥月

一葉青芥

夜ノ用ノ香根黒ク幹ナリ唯ハ葉葉葉
 我出ノ室ヲ流シ維ニ葉葉葉ノ花ノ多
 秋ノ向ノ枝條ヲ惹リ得ルハ織
 得ル得ル葉條ノ相ニ倍スヘシ
 ミツクク 結考
 瑞香科ノ有葉木ナリ法(国) (遠)
 美ニス幹高クサセハスハ枝條皆ニ種
 ナリ秋葉葉ノ色ヲ毎枝梢ニ一葉ノ花
 葉ノ下葉ニ青ニシテ花ノ用ノ外白
 葉ノ葉ニ葉ノ花樹ニ葉葉ナリ

又又

秋之

三五三

秋之 枝條ノ反ナリ外ハノ葉キ水ニ
 長シク秋ノ色ニシテ織錦ニ掃テ製
 枝ノ用ニ倍ス (国)

カシロ

瑞香科ノ有葉木ナリ根葉ノ色
 葉ノ色ハ秋ノ色ニシテ長シク
 葉ノ新葉ナリ生シテ葉ノ色ハ
 体白クシテ葉ノ色ハナリ秋ノ色
 ノ色ニシテ葉ノ色ハナリ秋ノ色
 去リ織錦ノ様ニ製ス (国)

草芥月

一葉青芥

ニ似テ厚ク白色ニ染ラズ至^ルカニス^ル年暮^クモ
枝梢^ニ白^クノ昔^ク免^ルノ^後後^ニ葉^ノ葉^ノ中^ニ一^子子^シハ
冬^リリ^ク冬^月前^ニ根^枯枯^ル春^夏夏^間葉^ヲ刈^ルル
リ^ハ藍^シ製^スル^ニ如^クシ^テ女^道道^名ノ^深新^トス^ル

ヤマナシ又スニ 棠梨

葉^ハ微^小科^ノニ^似葉^木木^{ナリ}諸^國山^中ニ^生生^ス幹^ハ
赤^クシ^テ冬^ノ年^暮暮^ク葉^ノ葉^ノ下^ニ花^ヲ出^シ田^邊
實^シ法^フ大^クニ^作作^ル六^本本^ノ皮^ヲ剥^キ黄^色
藥^ニ染^ル粉^トス^ニシ^テ桶^ニ入^ルト^ス

オホエモ

葉^ハ微^小科^ノニ^似葉^木木^{ナリ}諸^國山^中ニ^生生^ス幹^ハ
赤^クシ^テ冬^ノ年^暮暮^ク葉^ノ葉^ノ下^ニ花^ヲ出^シ田^邊
實^シ法^フ大^クニ^作作^ル六^本本^ノ皮^ヲ剥^キ黄^色
藥^ニ染^ル粉^トス^ニシ^テ桶^ニ入^ルト^ス

アカ子 高^クシ^テ

葉^ハ微^小科^ノニ^似葉^木木^{ナリ}諸^國山^中ニ^生生^ス幹^ハ
赤^クシ^テ冬^ノ年^暮暮^ク葉^ノ葉^ノ下^ニ花^ヲ出^シ田^邊
實^シ法^フ大^クニ^作作^ル六^本本^ノ皮^ヲ剥^キ黄^色
藥^ニ染^ル粉^トス^ニシ^テ桶^ニ入^ルト^ス

冬日根ヲ掘テ赤もりの海州ト云

カハラマツナ 蓬子菜或ハハクシ

葛草科ノ実根草ナリ蓬子菜 蔓長ニ堀シテ

長サ八寸許ノ春ニ出ツセシ秋枝枯

穂ヲ抽キ花ヲ開シ夏實ヲ結ブ冬日根

ヲ掘テ用テ赤もりの海州ト云世ノ葛草子

ト似シ取置テ冬ニ多ク出ツ蓬子菜根ナリ

クナナシ 山梔子

葛草科ノ草根木ニシテ海國ノ自生又園

實アリ幹高サ七八尺庭際ノ薄氷融

トサスニ冬ニ初夏枝枯花ヲ開シ白紫

ナリ御ニシテ香もアリ後實ヲ結ブ形極

子ニ似テ以テ殺テ煎テ赤もりの海州ト云

採テ湯氣ヲ用テ煎テ赤もりの海州ト云

ハニバナ又紅藍花

菊科ノ一年生園圃ノ耕作物ナリ春

莖ヲ抽リ高サ三尺ノ莖ニ毛刺アリ

夏蓮頭ニ花ヲ開シ花ノ色ハ紅紫

色ナリ花弁ヲ収メテ紅もりの海州ト

云花後實ヲ結ブ大サ赤もりの海州ト云

白のりより油の搾り燈の供する

シナノガキ 又サカガキ 君遷子

柿樹科ノ常葉木ナリ(諸國)ニ生れ久幹

高サ丈余春も葉ツ生じ初夏ノ花シ開ク

唯雄西ノ葉アリ又雌本モアリ且其大

小ニシテ形同ク冬ニ葉ヲ落ス時ニ日樹

枝アレハ甚カキリ或リナキカ如シ又同種ニト

マツ初樹一カブドウカキト稱せん者アリ宜ニ

田ニシテ校園多シ以宜ノ熟セカシ者多ク

油シ製スル所用最多シ

此ノ名遷子ノミナシ他ノ名製樹シテ油製スル

ノカヤツク
油シ製スル
所用最多シ

ソウゴウ又スガシ フシラモチ 冬青

冬青科ノ常緑木ナリ暖國ノ自生ス幹直ナリ

丈全まひ葉同ク白花シ開ク雄本雌

本アリ雄ハ小白花シ葉狭ク雌ハ小白花シ

既ニ開ク後田舎ノ結ブニ似テ赤色

極ニ多ク現存スル所ニ多ク採ル所ナリ

紅赤色シ 雄本雌本

五葉樹科ノ常緑木ナリ

葉同ク形同ク冬ニ葉ヲ落ス時ニ日樹

枝アレハ甚カキリ或リナキカ如シ又同種ニト

同種ナリ
葉狭ク
雌本

カレハ 楊梅

桑葉美利ノ常深味者ノ暖國ノ梅也
 又山中、白甘ク、幹者青ク、又、葉、枝、條、四
 方、葉、以、女、子、ノ、春、者、葉、間、に、雄、花、雌、花
 少、用、ノ、雄、花、葉、美、花、又、何、種、ト、モ、ハ、母、子
 種、也、又、葉、之、味、苦、シ、ク、大、三、回、ノ、田
 草、也、其、味、亦、苦、シ、ク、其、味、ハ、甘、シ
 又、其、葉、間、に、二、三、毛、ト、モ、モ、此、本、皮、ヲ、採、テ
 湯、中、に、浸、料、リ、シ、テ、之、ヲ、シ、モ、カ、ハ、ト、モ、云
 々、種、ト、モ、氣、シ、テ、白、も、入、者、ハ、ウ、リ、味、ハ、優、文、
 ン、僅、名、水、精、楊、梅、ト、モ、云、フ

カレハ 楊梅

桑葉美利ノ常深味者ノ暖國ノ梅也
 又山中、白甘ク、幹者青ク、又、葉、枝、條、四
 方、葉、以、女、子、ノ、春、者、葉、間、に、雄、花、雌、花
 少、用、ノ、雄、花、葉、美、花、又、何、種、ト、モ、ハ、母、子
 種、也、又、葉、之、味、苦、シ、ク、大、三、回、ノ、田
 草、也、其、味、亦、苦、シ、ク、其、味、ハ、甘、シ
 又、其、葉、間、に、二、三、毛、ト、モ、モ、此、本、皮、ヲ、採、テ
 湯、中、に、浸、料、リ、シ、テ、之、ヲ、シ、モ、カ、ハ、ト、モ、云
 々、種、ト、モ、氣、シ、テ、白、も、入、者、ハ、ウ、リ、味、ハ、優、文、
 ン、僅、名、水、精、楊、梅、ト、モ、云、フ

三八七

三八八

多の... 葉の... 花の...

葉の... 花の... 葉の...

葉の... 花の... 葉の...

葉の... 花の... 葉の...

葉の... 花の... 葉の...

葉の... 花の... 葉の...

葉の... 花の... 葉の...

葉の... 花の... 葉の...

葉の... 花の... 葉の...

三八九

ハク... 葉の... 花の...

葉の... 花の... 葉の...

葉の... 花の... 葉の...

葉の... 花の... 葉の...

三八七

三八八

多クハ...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

自注アリ。青を以て因に其色ハナラズ。初冬を
 以て用り。花ハカシ。冬ニシテ花ハ多ク
 開ク。花ハ青。葉ハ深緑。冬ニシテ葉ハ
 赤。冬ニシテ葉ハ赤。冬ニシテ葉ハ赤。

第十九 葉用類

自注ス。早。花ハ青。葉ハ深緑。冬ニシテ葉ハ赤。

自注ス。早。花ハ青。葉ハ深緑。冬ニシテ葉ハ赤。

葉用類

自注ス。早。花ハ青。葉ハ深緑。冬ニシテ葉ハ赤。

自注ス。早。花ハ青。葉ハ深緑。冬ニシテ葉ハ赤。

あっぱのり

細葉者連

アムセン

北五味子

同葉ノ田細サシメ田共ナリトス
 本園科ノ月露ニ受セシメ
 葉サセシ書多ク又書胎細梗ニ垂
 世花ノ開リ白モシク又微細ノ若ク後
 實ヲ結ブ熟シテ更ニ實ナリ
 北五味子ノ實ニ似テシメ
 コウサナキト云フ
 北五味子ノ實ニ似テシメ
 北五味子ノ實ニ似テシメ

ビナレカワラ 南五味子

ツグニ三朝

本葉科ノ書多ク又書胎細梗ニ垂
 世花ノ開リ白モシク又微細ノ若ク後
 實ヲ結ブ熟シテ更ニ實ナリ
 北五味子ノ實ニ似テシメ
 コウサナキト云フ
 北五味子ノ實ニ似テシメ
 北五味子ノ實ニ似テシメ

同葉科ノ書多ク又書胎細梗ニ垂

葉の痛に焙て末に撒りて
乾かす味は又一種葉を
乾かしてアリアリを乾かして取
りてニツシカノリトモ

コクサキ 中葉也

草香科ノ有葉木葉は山吹ノ自せス
幹よりサカサネ葉は生じ葉末
葉間ニ二寸許ノ葉生じ花は族
状大サ三分の四葉はしつちあり
根は根と擇て葉を團トテ味は辛

味は辛

クロムヤモトキ 葉を干す

葉は干し葉末は法國の山吹
葉の細花は葉の葉末は生じ
葉末は細花は葉の葉末は生じ
葉末は細花は葉の葉末は生じ

サカサネト 中葉也

葉は干し葉末は法國の山吹
葉の細花は葉の葉末は生じ
葉末は細花は葉の葉末は生じ
葉末は細花は葉の葉末は生じ

天復して四角なるもの根多様身乾し時
大用にて保す味の苦

クラー 苦老

苦老ノ名物也一山吹と白せりし
身も白く用ひてスル者オ三四入まで
蒸格・法量るも子・物形花に似
ハ又ツ法テ秋ニテササ根
シ律テ乾しシ者用トス又蒸し
織澤シ揉テ絲を紡ニキ紙等ノ料
也

シラレクヒエ 破胡紙 又稱骨脂

苦老 一平小し園者ノ植物也
言保年中ノ皮籜皮也今諸國
園中ニス者花子多量ニシテ
三四入まで秋ノ園葉取一平許
シ花散ラ出シ津汁を以テ蟻形ノ
也花は乾し使しス必方此葉多クナリ後
種子を煮モイサシテ食スハ
身乾し又オランダノ用ニシテ
クラーコンサラ取物梅
葉面ニ細科入ラる者ナリ

二二六

細シヤシテ細少白花シク發せし後
種子ヲ結ブ秋根ヲ擽ル乾シ
味苦ク辛ク用トス味酸ク辛ク

ノタケ 二の如

細形科ノ細葉ノ草ニシテ山野に自生
多し春葉茂ル者ニ葉ノ背ニ白毛
サセリスル代ニ葉ノ背ニ白毛シ
葉ノ裏ニ白毛ノ細葉花ノ葉ニ用シ
又白毛ノ類アリ根ヲ擽リシヨ
味苦ク辛ク用トス

二二七

コエレドロ 胡麻

細形科ノ草ニシテ區區ノ科ノ科
細葉ノ草ニシテ今春葉ノ背ニ白毛
根ノ葉ノ背ニ白毛ニシテ葉ノ背ニ
細葉ノ草ニシテ今春葉ノ背ニ白毛
根ノ葉ノ背ニ白毛ニシテ葉ノ背ニ

二二八

細形科ノ草ニシテ區區ノ科ノ科
細葉ノ草ニシテ今春葉ノ背ニ白毛
根ノ葉ノ背ニ白毛ニシテ葉ノ背ニ
細葉ノ草ニシテ今春葉ノ背ニ白毛
根ノ葉ノ背ニ白毛ニシテ葉ノ背ニ

ノ

可
 草辭出
 三
 カノニゲクサ又ニシ
 五の科ノ名有根
 知シテ養育する
 二年ニ二根
 三年ニ二根
 四年ニ二根
 五年ニ二根
 六年ニ二根
 七年ニ二根
 八年ニ二根
 九年ニ二根
 十年ニ二根
 十一年ニ二根
 十二年ニ二根
 十三年ニ二根
 十四年ニ二根
 十五年ニ二根
 十六年ニ二根
 十七年ニ二根
 十八年ニ二根
 十九年ニ二根
 二十年ニ二根
 二十一年ニ二根
 二十二年ニ二根
 二十三年ニ二根
 二十四年ニ二根
 二十五年ニ二根
 二十六年ニ二根
 二十七年ニ二根
 二十八年ニ二根
 二十九年ニ二根
 三十年ニ二根
 三十一年ニ二根
 三十二年ニ二根
 三十三年ニ二根
 三十四年ニ二根
 三十五年ニ二根
 三十六年ニ二根
 三十七年ニ二根
 三十八年ニ二根
 三十九年ニ二根
 四十年ニ二根
 四十一年ニ二根
 四十二年ニ二根
 四十三年ニ二根
 四十四年ニ二根
 四十五年ニ二根
 四十六年ニ二根
 四十七年ニ二根
 四十八年ニ二根
 四十九年ニ二根
 五十年ニ二根
 五十年ニ二根

草辭出	三	カノニゲクサ又ニシ	五の科ノ名有根	知シテ養育する	二年ニ二根	三年ニ二根	四年ニ二根	五年ニ二根	六年ニ二根	七年ニ二根	八年ニ二根	九年ニ二根	十年ニ二根	十一年ニ二根	十二年ニ二根	十三年ニ二根	十四年ニ二根	十五年ニ二根	十六年ニ二根	十七年ニ二根	十八年ニ二根	十九年ニ二根	二十年ニ二根	二十一年ニ二根	二十二年ニ二根	二十三年ニ二根	二十四年ニ二根	二十五年ニ二根	二十六年ニ二根	二十七年ニ二根	二十八年ニ二根	二十九年ニ二根	三十年ニ二根	三十一年ニ二根	三十二年ニ二根	三十三年ニ二根	三十四年ニ二根	三十五年ニ二根	三十六年ニ二根	三十七年ニ二根	三十八年ニ二根	三十九年ニ二根	四十年ニ二根	四十一年ニ二根	四十二年ニ二根	四十三年ニ二根	四十四年ニ二根	四十五年ニ二根	四十六年ニ二根	四十七年ニ二根	四十八年ニ二根	四十九年ニ二根	五十年ニ二根	五十年ニ二根
-----	---	-----------	---------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	--------

ハケルニ甘ニシテ微レリ苦味ナシ

草辭出	三	カノニゲクサ又ニシ	五の科ノ名有根	知シテ養育する	二年ニ二根	三年ニ二根	四年ニ二根	五年ニ二根	六年ニ二根	七年ニ二根	八年ニ二根	九年ニ二根	十年ニ二根	十一年ニ二根	十二年ニ二根	十三年ニ二根	十四年ニ二根	十五年ニ二根	十六年ニ二根	十七年ニ二根	十八年ニ二根	十九年ニ二根	二十年ニ二根	二十一年ニ二根	二十二年ニ二根	二十三年ニ二根	二十四年ニ二根	二十五年ニ二根	二十六年ニ二根	二十七年ニ二根	二十八年ニ二根	二十九年ニ二根	三十年ニ二根	三十一年ニ二根	三十二年ニ二根	三十三年ニ二根	三十四年ニ二根	三十五年ニ二根	三十六年ニ二根	三十七年ニ二根	三十八年ニ二根	三十九年ニ二根	四十年ニ二根	四十一年ニ二根	四十二年ニ二根	四十三年ニ二根	四十四年ニ二根	四十五年ニ二根	四十六年ニ二根	四十七年ニ二根	四十八年ニ二根	四十九年ニ二根	五十年ニ二根	五十年ニ二根
-----	---	-----------	---------	---------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	--------	--------

山菜蔓科ノ山菜木ナリ諸國ノ園表ニ高保年中日
漢種渡リ今世ニ多ク栽シ者有リ是ナリ幹高五丈余
昔鳥糞者出ニ枝梢ニ細小葉花ハ紫マリ用リ共ナリ
今神ノ乾花ニ主シ後實能ク赤色ナリ以實ヲ
接日乾シテ蒸餾スルニ酸ナリ

四三三 二六ノナリ 喜ナリ

忍冬科ノ常葉木ナリ諸國ノ山中ニ自生ナリ人家
ニ毛圓葉ノ幹高五丈八尺早葉者新葉赤クニ枝梢ニ
細小葉白花ニ繁生ス形繖ヲナシ白クナリ後實
ヲ結フ大ナリ實ニヨリ秋ノ多ク赤熟ス以實花
ヲ採リ乾シテ蒸餾スルニ酸ナリ

頸之花ツ肉ツ形アサミソウ花ニ似テ白なる者或ハ
 紅なる者有リ根ツ採テ食用ト云其
 形ハ肥大ニシテ葉手ノ如シ香ニ善ク味ハ甘ク
 辛ク又白朮ト呼ぶ者有リ形状相似テ花葉ハ多ク
 甘味ハ根ノ形モ大ニシテ其初旬ニ至テハ里
 中集本海

岩菜類ノ名根草ナリ園圃ニ耕種ス
 葉基ニ抽リ高サ七寸或ハ尺ニ及ブ
 初夏又葉枯レ分枝シテ花ヲ開リ筒子楕
 圓五裂表裏皆黄者有リ此世有ル者
 葉ノ根ノ味ハ苦ク根ノ味ハ甘ク
 昔時ハ甘味ナリ

龍胆科ノ一年草ナリ山際ニ自生ス
 葉種子ヨリ苗ツトシ葉七ハ寸
 ノ至ル作リ冬ニ枯レ秋ハ花ニシテ花ヲ
 用ク白菊ト云紅花ニ似テ葉ハ大葉
 ノ者ナリ根ハ細ク味ハ苦ク根ヲ採リ乾シテ
 味ハ苦ク根ハ細ク味ハ苦ク

龍胆科ノ一年草ナリ山際ニ自生ス
 葉種子ヨリ苗ツトシ葉七ハ寸
 ノ至ル作リ冬ニ枯レ秋ハ花ニシテ花ヲ
 用ク白菊ト云紅花ニ似テ葉ハ大葉
 ノ者ナリ根ハ細ク味ハ苦ク根ヲ採リ乾シテ
 味ハ苦ク根ハ細ク味ハ苦ク

四四二 イケマ 牛皮消

白前科ノ名花高草ニシテ山部ニ生ス

葉ト草ト共ニ高さシ長シ夏葉腋ニ細

穂ヲ出シ繖状ニ花ヲ着ク 淡黄ク白クナリ

根ノ味ト苦シ

角ヲ結フ秋ニ角自列レテ白絨トシテ種子ヲ包ム

用トス 根ヲ搗リ乾シテ用ス

白前 三ノ子 玄参

玄参科ノ名花高草ニシテ山部ニ生ス

根ノ味ト苦シ

大サ三寸ノ根ニ後種子ヲ結ブ根ニ肥ニ長サ

二三寸ノ為塊ニ生ラズ根ヲ搗リ乾シテ

用トス味ト苦シ

根ノ味ト苦シ 又假蘇

厚形科ノ名花高草ニシテ山部ニ生ス

葉ト草ト共ニ高さシ長シ夏葉腋ニ細

穂ヲ出シ繖状ニ花ヲ着ク 淡黄ク白クナリ

根ノ味ト苦シ

用トス 根ヲ搗リ乾シテ用ス

味は微しり苦し
先づ子実の根を洗ひ乾し
油を以て炒りて之を以て
二徳を香するなり

四八 オホバコ車前

車前草科の元根三寸あり 山野に自生す
葉は長卵の形あり 潤す寸半あり 麦片花葉
の抽く葉はサラモ寸 穂は子にシテ花は用り
白麩の微量を得るなり 若うは後種子
煎で代るに因て大か形状同じかあるは種子
は味は甘しり

アハカノケイトラウ 青箱

苜蓿科の一年生草なり 園圃に栽植す
若苗は生す一葉あり 葉は二三人余の
葉を枝梢に穂を出し 葉は密なり
白く生すにシテ 葉は淡紅色なり 花は
白く種子は黒なり 葉は味は微しり苦し
種子は味は微しり苦し

本草綱目

本草綱目

本條ハ根ハ牛膝

葛科

葛根ノ根ノ下ニ牛膝ノ根アリ

考葛ノ生スル方割リテカキ入ル

枝格ニ種ヲナシク花ヲ開ク

種子ニ皮アリ

人ノ衣服ニ着ク

味苦シ

後甘シ

ニハヤキ

葛科ノ根ノ下ニ牛膝ノ根アリ

考葛ノ生スル方割リテカキ入ル

枝格ニ種ヲナシク花ヲ開ク

種子ニ皮アリ

人ノ衣服ニ着ク

味苦シ

後甘シ

何首烏

葛科ノ根ノ下ニ牛膝ノ根アリ

考葛ノ生スル方割リテカキ入ル

枝格ニ種ヲナシク花ヲ開ク

種子ニ皮アリ

四五三 才志し 大景

荔枝科ノ常緑多年園圃ノ耕作物ニ春も苗ニ生
こ夏田圃ヲ抽ク高ク六七尺 梢と葉腋ニ枝ッ
分チ穂ヲナレ花シソ着ク 淡黄ク緑白クナリ
後穂ニ成ル熟スニ至テ 苗枯ル根ヲ挿ル
系ノ味甜酸ナリ

本條載スル者ツテ元本僅種ノ大葉ト稱スレモ清舶載セザル大葉根ハ
ハ毎ノ根ト別ナリ真真物ノ葉形ハ大ニテ羽扇状ニシテ面ニ皺紋
ト有ル 洋名 *Macaranga palmifolium* ト云

才志し 桂

樟科ノ常緑木ナリ暖國ノ園圃ニ挿ルナリ丸葉
幹ニシテ葉ノ縁ニ鋸歯有リ

葉ノ縁ニ鋸歯有リ

淡黄ク白クシテ 後ニ赤クシテ 枝皮又根皮ヲ挿ルニ乾

味甜酸ナリ

四五四

ニシケリ

桂

樟科ノ常緑木ナリ暖國ノ園圃ニ挿ルナリ丸葉
幹ニシテ葉ノ縁ニ鋸歯有リ

船載種ニ係ル又九多四國ニ和音ニヤリ其形

状多味淡種ニ同シ 幹方サ丸余四寸許葉

ヲ生シ夏秋間枝梢ニ極ク分チ細小花シ開ク淡黄

線多ナリ 後實ヲ結ブ枝皮及根皮ヲ挿ルニ乾

味甜酸ナリ

ハ豆五

ウヤク

又テシグイウヤク

本草綱目

樟科

ノ常緑木ナリ

葉ノ形ハ

子保年ナリ

ノ船

身種ニシテ今ハ

諸國ニ

幹ニ高リ

八九尺アリクダシク葉生ス新葉ハ生シ枝

梢ニ花ヲ開ク淡黄ク保年ナリ大廿二分ハ

後宜ク遠クノ新ニ生リ實ニシテ毒多クナリ

根多ク挿シテ葉ヲ用トス味ニ微辛香多ク

根形天門冬ノ如ク身ニ西皮ニシテ中ノ肉ニ大丸ナリ

ハ豆五

ヒキノヒクイグナシ

馬兜鈴科ノ常根草ナリ諸國山野ニ生

生ス春ニ新葉ヲ出シ根トシテ花ヲ開ク大廿三

分ハ葉ニ色ハ黄ク種子黒シテ葉ハ

馬兜鈴科ノ常根草ナリ

根ヲ挿シテ葉ヲ用トス味ニ微辛香多ク

ハ豆五

ウヤク

本草綱目

馬兜鈴科ノ常根草ナリ葉ハ生シ

春ニ葉ヲ生シ夏ニ葉ハ開ク花ハ

生シ後ウヤク結ブ長サ一寸許肉サ

丸ニシテ外部ニ薄キ皮アリ

味ニ微辛香多ク根ハ挿シテ葉ヲ用トス

味ニ微辛香多ク根ハ挿シテ葉ヲ用トス

白オホバノ草トモトモ白花ノ草トモトモ草アリ

トグクシ 又シラヤク 藪 又藪草

三白草科ノ名取草ナリ 陸長ノ自セタシ
春ノ苗ツキエニ高サ七八寸 手ニ纏ヒシハ臭氣
新シク夏ニ茎上ニ花ヲ開ク 四年ノ白クナリ
若シ葉ヲ揉ミ乾シニ葉用トス 味ニ辛ナリ

トコロ 山舞草

苦苣苔科ノ名取草ニシテ 山舞草
陸長ノ自セタシ 葉ニ臭氣アリ
春ノ苗ツキエニ高サ七八寸 手ニ纏ヒシハ臭氣
新シク夏ニ茎上ニ花ヲ開ク 四年ノ白クナリ
若シ葉ヲ揉ミ乾シニ葉用トス 味ニ辛ナリ

サレキヤク 土茯苓

土茯苓科ノ名取草ニシテ 土茯苓
陸長ノ自セタシ 葉ニ臭氣アリ
春ノ苗ツキエニ高サ七八寸 手ニ纏ヒシハ臭氣
新シク夏ニ茎上ニ花ヲ開ク 四年ノ白クナリ
若シ葉ヲ揉ミ乾シニ葉用トス 味ニ辛ナリ

福寿草ノ草ニシテ 傳フトモトモ 嫩葉ニシテ 相ク

新葉トモトモ 蔓シ 葉ニ臭氣アリ 出シ

葉腋ニ花ヲ開ク 相ク 長シ 葉ニ臭氣アリ 出シ

葉ニ臭氣アリ 出シ 葉ニ臭氣アリ 出シ

葉ニ臭氣アリ 出シ 葉ニ臭氣アリ 出シ

四二〇 白部

百部科ノ名取草ニシテ 百部
陸長ノ自セタシ 葉ニ臭氣アリ
春ノ苗ツキエニ高サ七八寸 手ニ纏ヒシハ臭氣
新シク夏ニ茎上ニ花ヲ開ク 四年ノ白クナリ
若シ葉ヲ揉ミ乾シニ葉用トス 味ニ辛ナリ

口取草ノ草ニシテ
葉ニ臭氣アリ
春ノ苗ツキエニ高サ七八寸 手ニ纏ヒシハ臭氣
新シク夏ニ茎上ニ花ヲ開ク 四年ノ白クナリ
若シ葉ヲ揉ミ乾シニ葉用トス 味ニ辛ナリ

特生蔓生草根形塊ニシテ葉ハ細ク根ハ如シ

又スヒトノアシ 天麻 又青葉ノオモ

蘭科ノ一年生ナリ山部ニ生ス。ゆ又獨

生シ生ニ日ナラスニテ直トヨ四ヨク

乃コトモ以テ葉ハ多クナリ根ハ細ク葉ハ白

甘王ルアリトシ穂シナシ花ハ用ニシテ

花ハ似テ穂大ナリ後葉中ノ細小ナリ

秋ニ生テ葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

根ハ細ク葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

七寸許ニ寸余アリ

蔓科ノ名根草ニシテ暖國ニ生ス

形似テ葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

カシユツ

達ニ我ニ成

蔓科ノ病名者ナリ

形似テ葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

葉ハ細ク根ハ細ク葉ハ白

○Pearl

ダブラシ

麦

る今相ノ音

諸國

穂ノ抽ク

緩ン

二箇

珠根ノ様

○種

○Peach

カリガ

玉

又園

葉

根

根形

特

ト

Handwritten notes in the left margin.

○四九 ウキノキ 浮萍水萍

眼子菜科 一年生ナリ 是れ由澤

又ハ浮水ノ中ニ生スル葉ノ背ニ有リ

○五〇 又ハ水面ニ生スル葉ノ背ニ有リ

ト云フ是れ又ハ浮水ノ中ニ生スル葉ノ背ニ有リ

肉質ノ葉ノ縁ニ有リ 葉ノ裏ニ有リ

○五一 葉ノ縁ニ有リ 葉ノ裏ニ有リ

○五二 ハニスゲ 香附子

本草綱目

本草綱目

○五三 葉ノ縁ニ有リ 葉ノ裏ニ有リ

○五四 葉ノ縁ニ有リ 葉ノ裏ニ有リ

○五五 葉ノ縁ニ有リ 葉ノ裏ニ有リ

○五六 葉ノ縁ニ有リ 葉ノ裏ニ有リ

○五七 葉ノ縁ニ有リ 葉ノ裏ニ有リ

○五八 葉ノ縁ニ有リ 葉ノ裏ニ有リ

○五九 葉ノ縁ニ有リ 葉ノ裏ニ有リ

○六〇 葉ノ縁ニ有リ 葉ノ裏ニ有リ

○六一 葉ノ縁ニ有リ 葉ノ裏ニ有リ

三

考。あり苗ツ生し一科。其葉セス夜廿三
 天。其葉を中ヨリ出ス方。其葉
 大。其葉ハニカ葉ヲサヤシシ。方ツシヤ
 少。肉穂ソシ出ス。葉ハ多クサリ。葉ハ種子
 根ハ自生ス。根ハ根ハ種子
 其根ハ形ハ葉ハ
 如ク。西。其根ハ形ハ葉ハ
 四七二 マツボト 夜ス
 芝。栴。利。実。生。物。あり。里。松。多ク。林
 中。其根ハ形ハ葉ハ

考。あり苗ツ生し一科。其葉セス夜廿三
 天。其葉を中ヨリ出ス方。其葉
 大。其葉ハニカ葉ヲサヤシシ。方ツシヤ
 少。肉穂ソシ出ス。葉ハ多クサリ。葉ハ種子
 根ハ自生ス。根ハ根ハ種子
 其根ハ形ハ葉ハ
 如ク。西。其根ハ形ハ葉ハ
 四七二 マツボト 夜ス
 芝。栴。利。実。生。物。あり。里。松。多ク。林
 中。其根ハ形ハ葉ハ

白。色。ナリ
 葉。ハ。多ク。サリ
 根。ハ。自。生。ス
 其。根。ハ。形。ハ。葉。ハ

四七〇

メリマコラ

桑黄

芝栂科ノ寄生生物ナリノ新ノ老幹

生ニカサカサナリノ形状物極似

シメツルカサカサナリノ形状物極似

ナリ極テツルカサカサナリノ形状物極似

本草

ナリタケ又ニツグニ高勃

芝栂科ノ寄生生物ニシテ秋月山林中ノ陰

如ニ自生スル形名ニシテ如ク初ハ山

不日ニ大塊トナル高サ五ニ至リ四五ニ及ブ

七五

出ヨリタケ又ニツグニ高勃

芝栂科ノ寄生生物ニシテ秋月山林中ノ陰

如ニ自生スル形名ニシテ如ク初ハ山

不日ニ大塊トナル高サ五ニ至リ四五ニ及ブ

此菌類名ナリノ老レハ内部ニカサカサ

元ツツツツ弾スレバ忽ク粉烟ツクハス

採ル時(子ノ葉)ニ伝ス

外皮黒色又赤色ナリ

質白ナリ(採ル時)ニシテ

りせり

メリコフ

梨黄

芝栂科ノ寄生物ナリキノコノ老幹ニ

生ス。葉叢ノ形状物類即ニ似

シ。おもむき等。角の面黄なるも

ナリ。柱ニツキ用ニ使ヒ先ニ

下草

ナリタケ又ニツラニ馬勃

芝栂科ノ寄生物ニシテキノコノ老幹ニ

生ス。葉叢ノ形状物類即ニ似

シ。おもむき等。角の面黄なるも

ナリ。柱ニツキ用ニ使ヒ先ニ

ナリタケ又ニツラニ馬勃

芝栂科ノ寄生物ニシテ秋月山林中ノ陰

地ニ自生ス。形多ク葉叢ノ如ク初ハ少圓

不日ニ大塊トナル。高ク至ニ五寸ノ便リ四五分ニ及ブ

葉叢ノ名ナリ。老レハ内部ニ古綿ノ如キ者ナリ

元ツ之ツ弾スレバ忽チ粉烟ツ者ガス

揮ハ野ニテノ葉用ニ使ヒ先ニ

ナリタケ又ニツラニ馬勃

芝栂科ノ寄生物ニシテ秋月山林中ノ陰

地ニ自生ス。形多ク葉叢ノ如ク初ハ少圓

〇 八〇

カカト

石龍

石龍

重良科ノ越年守ナリ山都^{山都}重良科^{重良科}中用^{中用}
重良科^{重良科}抽リ^{抽リ}高サニ入^{高サニ入}ル^ル格^格ニ五年ノ若ク花^{五年ノ若ク花}
ノ開ク後ニ^{ノ開ク後ニ}結ク^{結ク}生^生者^者昔^昔ノ人^{ノ人}ニカ^{ニカ}タ^タ
復リ^{復リ}ル^ルニ^ニ吐^吐血^血或^或ハ^ハ起^起ル^ル也^也

〇 八〇

キワ

田

毛良科ノ越年守ナリ山都^{山都}重良科^{重良科}中用^{中用}
高サ^{高サ}ニ^ニ入^入ル^ル格^格ニ五年ノ若ク花^{五年ノ若ク花}
ノ開ク後ニ^{ノ開ク後ニ}結ク^{結ク}生^生者^者昔^昔ノ人^{ノ人}ニカ^{ニカ}タ^タ
復リ^{復リ}ル^ルニ^ニ吐^吐血^血或^或ハ^ハ起^起ル^ル也^也

〇 八〇
カカト
重良科ノ越年守ナリ山都^{山都}重良科^{重良科}中用^{中用}

〇 八〇

重良科ノ越年守ナリ山都^{山都}重良科^{重良科}中用^{中用}
重良科^{重良科}抽リ^{抽リ}高サニ入^{高サニ入}ル^ル格^格ニ五年ノ若ク花^{五年ノ若ク花}
ノ開ク後ニ^{ノ開ク後ニ}結ク^{結ク}生^生者^者昔^昔ノ人^{ノ人}ニカ^{ニカ}タ^タ
復リ^{復リ}ル^ルニ^ニ吐^吐血^血或^或ハ^ハ起^起ル^ル也^也

重良科ノ越年守ナリ山都^{山都}重良科^{重良科}中用^{中用}
重良科^{重良科}抽リ^{抽リ}高サニ入^{高サニ入}ル^ル格^格ニ五年ノ若ク花^{五年ノ若ク花}
ノ開ク後ニ^{ノ開ク後ニ}結ク^{結ク}生^生者^者昔^昔ノ人^{ノ人}ニカ^{ニカ}タ^タ
復リ^{復リ}ル^ルニ^ニ吐^吐血^血或^或ハ^ハ起^起ル^ル也^也

四七

木本鉤

其より初とせむ
黄シ法グ量葉ヲ切レハ
黄汁出ツ臭降
ハムスルカラス

白セシク
木本鉤
ナハカリ
ナハカリ
ナハカリ
ナハカリ

本アリ
考前
葉ヲ世シ
樹ノ花ノ用ノ者
紅白名
花ノ葉
ツ法フ我
葉ノ形感

ツ法フ我
葉ノ形感
ツ法フ我
葉ノ形感



ツ法フ我

葉ノ形感

ツ法フ我

ツ法フ我

ツ法フ我

ツ法フ我

ツ法フ我

ツ法フ我

ツ法フ我

て凡九



ツ法フ我

四九六

ハシナトコロ

女良草

茄科ノ宿根草ナリ。諸國ニ生シ。自生ナリ。

早ク育チ苗アリ生シ。葉ハ黒ク長シテ淡

緑ニシテ又スチサスル也。花ハ

梢葉ハ細梗ニ出シ花ヲ開ク。葉モ

又青クもたれ。葉ハツツシク初夏ノ中

夜ニシテ法流ル也。根ハ

根ハ形半草ナリ。似テ

山草

又

四九七

山草

又

蜀羊泉

茄科ノ宿根草ナリ。諸國ニ生シ。自生ス。葉

ハハシナトコロ。葉ハツツシク初夏ノ中

夜ニシテ法流ル也。根ハ

根ハ形半草ナリ。似テ

山草

又

蜀羊泉

茄科ノ宿根草ナリ。諸國ニ生シ。自生ス。葉

ハハシナトコロ。葉ハツツシク初夏ノ中

夜ニシテ法流ル也。根ハ

根ハ形半草ナリ。似テ

山草

又

白くかえ

四九九

ヤコバウ

高陸

高陸科ノ宿根草ナリ。諸國ニ園藝久
 考ルモノ生ル其葉ハ細ク抽ク草サ四五尺ノ
 葉ハ楕圓トシ穂ノ上ニ葉ノ白ク花ノ
 楕圓後ス或ハ淡紅花ノ者アリ。後宮ニ
 流グモ根シクニシテ大毒アリ。其ノキ
 死ス

根相

葉ハ細ク抽ク草サ四五尺ノ葉ハ楕圓トシ穂ノ上ニ葉ノ白ク花ノ楕圓後ス或ハ淡紅花ノ者アリ。後宮ニ流グモ根シクニシテ大毒アリ。其ノキ死ス

玉の 口地ラノキ 白瑞の香

瑞香科ノ常緑の灌木ニシテ深山陰草
 生ズ。葉ハ卵形ナリ三四尺許ノモノ有リ。花ト
 ニシテ香アリ。出シ香ニシテ花ノ周ク黄ク白クナリ
 花楕圓ナクシテ筒状ニシテ着ク。直レテ毒也
 此草ハ毒アリ。口ニ入レテ毒也

〇五〇二

木こしバリ又ナツハル

瑞香科ノ有葉園木ナリ。清國ニ多ク又ハ海島ニ自生ス。花シテ

赤クシテ葉トクニナリ。花シテ

淡黄緑ナリ。花シテ

つゝ紅シテ赤色トナリ。花シテ

〇五〇三 ホルトサウ 傍隨子

大戟科ノ越年草ナリ。所ニ園木

ス。花シテ赤クシテ葉トクニナリ。花シテ

ニ花シテ園木ニシテ花シテ

花シテ園木ニシテ花シテ

花シテ園木ニシテ花シテ

花シテ園木ニシテ花シテ

花シテ園木ニシテ花シテ

花シテ園木ニシテ花シテ

花シテ園木ニシテ花シテ

花シテ園木ニシテ花シテ

花シテ園木ニシテ花シテ

花シテ園木ニシテ花シテ

花シテ園木ニシテ花シテ

ニ花シ開リ四季に花を結ぶ大花
花の形は三稜の形に似たり
ナリト云ハ大花の形に似たり
○白け出シテ大花の形に似たり
五〇五 ナハトウタリ甘

大戦利ノ名根ニシテ
考る苗ヲ生シ葉ヲ相
ナマ老ニ及ニ花ニ開
ナリナリ長ニスルニ花
ナリナリ大花の形に似たり
ナリナリ大花の形に似たり

大戦利ノ名根ニシテ
考る苗ヲ生シ葉ヲ相
ナマ老ニ及ニ花ニ開
ナリナリ長ニスルニ花
ナリナリ大花の形に似たり
ナリナリ大花の形に似たり
○五〇七 ナリナリ大花の形に似たり
大戦利ノ名根ニシテ
考る苗ヲ生シ葉ヲ相
ナマ老ニ及ニ花ニ開
ナリナリ長ニスルニ花
ナリナリ大花の形に似たり
ナリナリ大花の形に似たり
○五〇七 ナリナリ大花の形に似たり

〇五二

サレオモツカ

澤瀉

澤瀉科

ノ名根草ナリ

水澤中ノ草也

狭葉

調葉ノ二種アリ

其ノ調葉ノ草

才多

狭葉ノ北澤瀉

ナリ其ノ春苗

生シ其ノ葉

サニ尺葉及葉枝

方テ毎

三布白多シ

後

根塊様

テ

根塊様

〇五二

ユキモチサウ

天南星科ノ塊根草ナリ後園山中ノ自生

春苗生ス一葉ニ大葉ノ中ノ葉アリ花茎ヲ出ス

高サ尺半有リ葉ハ筒トシテ春時竹葉細點

葉ハ淡黄緑多シテ葉條細點ヲ散布ス柱頭

田ニシテ白多シ後実ヲ結ブ以下天南星科属ス

五二二 マヒルテンナレシヤウ

天南星科ノ塊根草ナリ後園山中ノ自生

春苗生ス一葉ニ大葉アリ花茎ヲ出ス高

サ尺半有リ葉ハ筒トシテ淡緑多シ微葉

アリ葉縁長出ス後実ヲ結ブ

五二七 ヘビノダイハチ 斑杖

天南星科ノ塊根草ナリ春苗生ス一葉ニ大

葉下花茎ヲ出ス可ク尺由ハ其莖
 縁名ハ葉下花茎ノ近點アリ
 外面縁名内面暗色ありハ筒トシテ
 シテ法縁名ナリ後空ク法ア

五二ハ ヲサレアグニ 象頭花

天南星科ノ塊根草ナリ法蘭西山中ニ生
 ス多ク出ス一葉ニ大葉ノ向テハ花茎ヲ
 出ス可クサス中ハ筒トシテ表面ハ暗
 色縁名ニ法縁名ナリ
 根葉ハ筒トシテ法
 縁名ナリ

カラスヒレヤク 生草
 天南星科ノ塊根草ナリ諸國田路又ハ園圃ニ生
 生ス多ク出シ其莖ヲ抽ク可クサスハ寸頂ニ葉アリ
 表面縁名ニ法縁名ナリ珠根ヲ採リ乾シテ藥
 用ニ供ス生根ヲ口ニ含下スバ舌上及ヒ咽喉ヲ刺
 戟ス又一種大葉ノ者アリカハバハレゲトシテ

天南星科ノ塊根草ナリ山部ニ自生ス多ク生シ
 初メ葉生ラ抽ク可クサスニ葉淡緑色ニ白斑アリ一葉ニ
 ニ葉ヲ互生シ莖梢ニ一花ヲ開ク其莖ハ淡緑トシテ
 黄白トシテ縁道アリ年深ク筒体ハ暗色ナリ
 葉下花茎ノ根ハ大塊一葉ニシテ子ナシ毒アリ採リ藥ニ
 ナク用ス